

花
きらっとひかる
 布

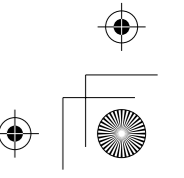
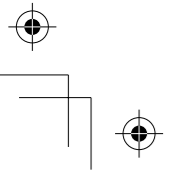
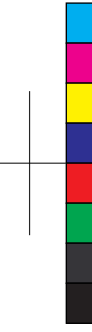
硝子

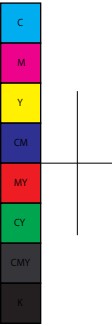
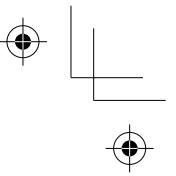
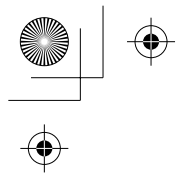
草



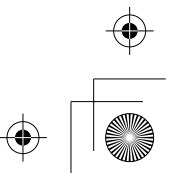
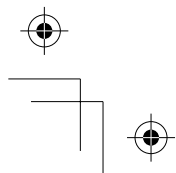
宝塚市手工芸協会
 40周年記念

糸紙 木
 土





宝塚市手工芸協会
40周年記念





40周年をお祝い申し上げます

宝塚市長 山崎 晴恵

宝塚市手工芸協会が記念すべき40周年を迎えられましたことを心からお祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、設立以来長きにわたり、手工芸活動の普及という目的のもと、文化的な地域社会づくりや未来の手工芸の担い手の発掘と育成、さらには作品づくりを通して国内外を問わず多くの方々と文化交流を図られるなど、実に精力的に活動をされてこられました。芸術性に富み技術的に優れた作品であり、かつ手作りならではの温かさや細やかさも合わせもつ手工芸作品からは、創意工夫された作者の心が感じられ、鑑賞する私たちの心も豊かになります。

このことは「創造力を育む文化芸術の薫り高い宝塚」を将来都市像に掲げる本市にとりまして、文化の継承や文化芸術活動による人と人との絆づくりにつながる大変意義のある活動であり、本市の文化芸術振興に多大なるご貢献をいただきましたことに深くお礼申し上げます。そして、これまでの皆様の熱意と努力に心から敬意を表しますとともに、今後のより一層の活躍をご期待申し上げます。

本年は本市にとりましても市制70周年という節目の年です。テーマとして掲げている「誰もが輝けるまち 宝塚～辿る軌跡(TA)、架ける橋(KA)、未来への光(RA)～」は、貴協会のこれまでの活動に加え、小中学生部門による公募作品の募集やワークショップの実施など、明日の担い手である子どもたちの育成に力を入れておられることと正に一致するものであり、今後も引き続き本市における手工芸文化、そして文化芸術の発展と向上にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

貴協会の今後ますますの発展と皆様方のご健勝・ご多幸を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



継続は力なり 祝・宝塚市手工芸協会40周年

加藤 義夫 (宝塚市立文化芸術センター館長 / 大阪芸術大学客員教授)

視覚芸術には美術、工芸、デザインなどがあります。日々の暮らしの中で私たちに最も関わりが深いのは工芸とデザインです。生活になくなくてはならないもの、それが生活美術である工芸です。工芸は日常生活で使用される道具類のうち、その素材、技巧、デザインによって実用性を備えた美的な存在として人々に長く愛されてきました。日本の工芸は、19世紀に始まるロンドン、パリ、ウィーンなどの万国博覧会において、ジャポニスム旋風を巻き起こし、欧米のアールヌーヴォーという芸術運動に大きな影響を与えました。日本の工芸は世界に誇る日本美術であり、暮らしの中で愛される生活美術といえましょう。

2024年は「宝塚市手工芸協会40周年」の記念すべき年にあたります。協会名の「手工芸」は工芸より広い意味として、手わざを競い合い、あるいは手芸といわれる暮らしに根ざした工芸を内包していると思われまます。その意味において工芸の裾野を広げ、市民に開かれた協会といえます。

1984年に設立された本協会では公募展を継続して開催してきました。筆者は本公募展の審査員長として過去3回にわたり審査に関わりました。素材表現の異種格闘技ともいえる同展の審査は実に興味深くもあり、悩ましいものです。スポーツに例えれば陸上・水泳・球技・体操・スキーなどの競技の中で、如何に優れた選手を選び、比べようもないものに賞を授けるといふ、至難の技です。本協会の秋山文子理事長や齊藤美和子会長の導きによる同展は、審査員にとっても新しい発見があり、切磋琢磨される作家のみなさまの作品にいつも刺激を受けています。

さらに2021年の第23回公募展からは小・中学生部門が誕生し未来の手工芸家の育成にも寄与しています。ここから創造性に富む才能が誕生することでしょう。

国際文化交流として宝塚市と姉妹都市のオーガスタ市(アメリカ)やウィーン第9区(オーストリア)、さらにソウル韓国日本国大使館公報文化院で展覧会を開催。海外との文化交流による日本の手工芸の素晴らしさを世界へ発信してきました。

あらためてここに、継続は力なりの言葉を実践してきた「宝塚市手工芸協会40周年おめでとう！」と世界に向かって叫びたい。さらなる新たな展開と高みへ、次の50周年へ向けて期待は膨らみます。



暮らしに息づく手工芸

宝塚市文化財団理事長 秋山文子

ある芸術家は、「私の芸術とは、生きることかもしれません。…働くよりも生きること、呼吸する方が好きです」と言っています。

人類の歴史を思い起こすと、250万年ほど前、石器が生まれ、およそ30万年前、火を使って生活するようになりました。農業革命がおこり、文明が生まれ、その文明のそれぞれの発祥の地で、人類が生きるための様々な営みの中で、優れた石器、土器、木工、銅鐸などの手工芸作品が作られました。これらすべては日々の生活の中で生み出された優れた芸術作品でした。私たちが生きてきたわずか数十年の間にも、世界はコンピュータ社会となりましたが、その中でも手作りの茶道具である黒楽茶碗のもつ美は失われることはありませんでした。

私はずっと続けてきた革工芸にも歴史があります。人類の暮らしの中で、初めは極寒のユーラシア大陸からアメリカ大陸へ移動するとき、動物の皮で衣服を造って寒さをしのぎ、肉を食べて命をつなぎ、角や骨は道具としたり身の飾りにも使ってきました。皮から靴や鞆等、日常の大切なものが造られ、さらには手工芸作品も作られるようになりました。まさに手工芸とは、人間の歴史そのものであり、生きることであり、暮らしに息づいた芸術なのです。

この高度な文明社会の中で、どんなに文明が進んだとしても、生きるために生活の中で生み出された手工芸は、暮らしの中に息づき続けるでしょう。



宝塚市手工芸協会40周年に思うこと

宝塚市手工芸協会会長 齊藤美和子

宝塚市手工芸協会は今年で40年を迎えます。始めに、これまで当協会にご理解を頂きご支援して頂いております宝塚市、宝塚市文化財団、そして何より公募展に協賛して頂いている皆様に心より感謝申し上げます。

宝塚市手工芸協会は、諸先輩方が手工芸のより高い芸術性を求め、地域社会に貢献するために設立されました。40年の間には「宝塚市手工芸公募展」韓国ソウルでの「お正月展」「ひな祭り展」などいろいろな事業を開催してきました。

「宝塚市手工芸公募展」では様々なジャンルの作品を展示し、観る方々に感動を与えています。手作りの魅力を伝え、また新しい手工芸の担い手の発掘にも努めてきました。23回公募展からは、小、中学生部門を設け、子供たちの想像力の豊かさを感じられる素晴らしい作品を出展して頂いています。

また、韓国ソウル日本大使館文化院での作品展ではワークショップも行い、多くの方々に参加頂き、民間交流としての役割も果たしています。

「宝塚阪急きらっとひかる街のアーティスト展」では、協会の作品を展示、販売し、売り上げの一部を被災地の義援金として寄付しています。

これらの事業を通して、手作りの暖かさ、楽しさを伝えるだけでなく、協会の技術の向上、また社会との関わりなど様々なことを学んできました。

この40年の間に社会の状況はいろいろと変化してきました。インターネットやAIの普及により、色々なことが簡単に出来る様になってきました。しかしながら人が考え、創作する力は人に感動を与える、無くてはならないものだと思っています。

これからも手作りの力を信じ、様々な事業を開催していきたいと思っています。

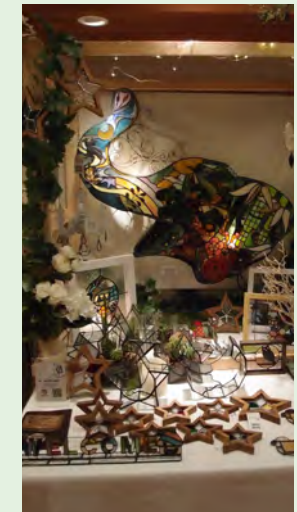
宝塚手工芸協会のあゆみ

年	月	実施内容
昭和 59 年 (1984)	4 月	宝塚市在住の手工芸作家有志による「宝塚手工芸展」開催発起人会発足 活動開始
昭和 60 年 (1985)	4 月	「第 1 回宝塚手工芸展」開催に向け準備スタート
昭和 61 年 (1986)	4 月 10 月	「宝塚手工芸展」実行委員会を設立（実行委員長：阪口弘子） 第 1 回宝塚手工芸展公募展を市役所市民ホールにて開催 （主催：宝塚手工芸展実行委員会）
昭和 62 年 (1987)	4 月	第 2 回宝塚手工芸展公募展を市役所市民ホールにて開催 （主催：宝塚手工芸展実行委員会）
昭和 63 年 (1988)	10 月	第 3 回宝塚手工芸展公募展を市役所市民ホールにて開催 （主催：宝塚手工芸展実行委員会）
平成元年 (1989)	4 月 10 月 11 月	手工芸文化の振興を図ることを目的として活動を広げるべく正式名称を 「宝塚手工芸協会」とする 会長：阪口弘子 第 4 回宝塚手工芸展公募展を開催（主催：宝塚手工芸協会） 宝塚市手工芸協会展を市役所市民ホールにて開催
平成 2 年 (1990)	5 月 11 月	第 5 回宝塚手工芸展公募展を開催（主催：宝塚手工芸協会） 宝塚市手工芸協会展を市役所市民ホールにて開催
平成 3 年 (1991)	4 月 5 月 11 月	会長：坂本節子 第 6 回公募展と宝塚手工芸展を開催（主催：宝塚市手工芸協会） 宝塚手工芸展を市役所市民ホールにて開催
平成 4 年 (1992)	5 月 11 月	公募展と第 7 回宝塚手工芸展を開催（主催：宝塚手工芸協会） 宝塚市手工芸協会展を市役所市民ホールにて開催
平成 5 年 (1993)	5 月 11 月	公募展と第 8 回宝塚手工芸展を開催（主催：宝塚手工芸協会） 宝塚市手工芸協会展を市役所市民ホールにて開催
平成 6 年 (1994)	4 月 5 月	会長：柳川公子 公募展と第 9 回宝塚手工芸展を国際文化センターにて開催 （主催：宝塚手工芸協会・（財）宝塚市文化振興財団） 姉妹都市・オーガスタ市（米国より招待作品 25 点）展示
平成 7 年 (1995)	9 月	阪神淡路大震災のため、公募展を中止 宝塚市南口会館にてチャリティバザーを実施し、 収益金 55 万円を宝塚市文化振興財団へ寄付

年	月	実施内容
平成 8 年 (1996)	4 月 5 月	会長：石飛昌子 公募展と第 10 回宝塚手工芸協会展を開催 （主催：宝塚手工芸協・（財）宝塚市文化振興財団 後援：宝塚市教育委員会、読売新聞大阪本社）
平成 9 年 (1997)	4 月 5 月	会長：太田町子 公募展と第 11 回宝塚手工芸展を国際文化センターにて開催 （主催：宝塚手工芸協会、（財）宝塚市文化振興財団 後援：宝塚市教育委員会）。
平成 10 年 (1998)	5 月 9 月	会長：太田町子 公募展と第 11 回宝塚手工芸展を国際文化センターにて開催 （主催：宝塚手工芸協会、（財）宝塚市文化振興財団 後援：宝塚市教育委員会）。
平成 11 年 (1999)	4 月 6 月	会長：加納滋子 公募展と第 13 回宝塚手工芸展を国際・文化センターにて開催 （主催：宝塚手工芸協会、（財）宝塚市文化振興財団）
平成 12 年 (2000)	5 月	公募展と第 14 回宝塚手工芸展を国際・文化センターにて開催 （主催：宝塚手工芸協会、（財）宝塚市文化振興財団）
平成 13 年 (2001)	6 月	公募展と第 15 回宝塚市手工芸展を国際・文化センターにて開催 （主催：宝塚市手工芸協会、（財）宝塚市文化振興財団） *名称などに「市」が入ることになった
平成 14 年 (2002)	4 月 6 月	会長：山本佐智子 ウィーン第 9 区（オーストリア）に市民文化交流団を 10 名派遣 公募展と第 16 回宝塚市手工芸展を国際・文化センターにて開催 （主催：宝塚市手工芸協会、（財）宝塚市文化振興財団）
平成 15 年 (2003)	2 月 4 月 6 月 9 月	阪神北地域文化交流のつどいに出展 会長：吉矢澄子 公募展と第 17 回宝塚市手工芸展を国際・文化センターにて開催 （主催：宝塚市手工芸協会、（財）宝塚市文化振興財団） 宝塚市手工芸協会展をアピア・ギャラリーにて開催 チャリティワークショップを行う（宝塚市社会福祉協議会に寄付）
平成 16 年 (2004)	6 月	阪急梅田本店 8 階イベントスクエア 8 にて「きらっとひかる街のアーティスト」展 を開催し、展示と販売（宝塚市文化振興財団に寄付）
平成 17 年 (2005)	2 月 4 月	第 1 回「日本ひな祭り宝塚市手工芸協会展」をソウル韓国日本国大使館公報文化院 にて開催 / 協会員の作品展示と無料講習会 / 10 名の作家が 1 講座 2 時間でソウル 市民に作品制作を指導 / 来場者数 1300 名 会長：秋山文子
平成 18 年 (2006)	6 月	阪急梅田本店美術ギャラリーにて「きらっとひかる街のアーティスト展」を開催し、 展示と販売（宝塚市社会福祉協議会に寄付）

年	月	実施内容
平成 19 年 (2007)	2 月	第 2 回「日本ひな祭り宝塚市手工芸協会展」をソウル韓国日本国大使館公報文化院にて開催 / 協会の作品展示と講習会 / 10 名の作家が 1 講座 2 時間でソウル市民に作品制作を指導 / 来場者数 1300 名。
	5 月	韓紙フェステ (江原道原州市) 参加 / 韓国日本国大使館公報文化院の依頼により和紙人形作家機谷氏派遣 / 展示と 2 日間の講習会 / 現地新聞、テレビで紹介
平成 20 年 (2008)	6 月	「きらっとひかる街のアーティスト展」を西宮阪急デパートにて開催し、作品展示と販売
平成 21 年 (2009)	2 月	第 3 回「日本ひな祭り宝塚市手工芸協会展」をソウル韓国日本国大使館公報文化院にて開催 / 協会の作品展示と無料講習会 / 8 名の協会員が 1 講座 2 時間でソウル市民に作品制作を指導 / 。来場者数 972 名
平成 22 年 (2010)	10 月	「きらっとひかる街のアーティスト宝塚市手工芸協会展」をギャラリーアート・スクエアにて開催
平成 23 年 (2011)	2 月	第 4 回「日本ひな祭り宝塚市手工芸協会展」をソウル韓国日本国大使館公報文化院にて開催 / 協会の作品展示と無料講習会 / 10 名の協会員が 1 講座 2 時間でソウル市民作品制作と指導 / 来場者数 947 名
	3 月	吉矢澄子顧問 宝塚市市民文化賞受賞
	4 月	東日本大震災義援チャリティバザーを宝塚市ソリオホールにて行い、義援金を贈る
平成 24 年 (2012)	6 月	「きらっとひかる街のアーティスト展」を西宮阪急にて開催し、作品展示と販売ならびに講習会 / 東日本大震災義援チャリティバザーを行い、宮城県工芸協会に義援金を贈る
平成 25 年 (2013)	1 月	第 5 回「日本の正月宝塚市手工芸展」をソウル韓国日本国大使館公報文化院にて開催。協会の作品展示と無料講習会 / 8 名の協会員が 1 講座 2 時間でソウル市民に作品制作と指導 / 来場者数 2356 名
	3 月	「きらっとひかる街のアーティスト展」を宝塚阪急にて催し、作品展示と販売 第 1 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向け無料講習会に参加 / 「きらっとひかる街のアーティスト宝塚市手工芸協会展」
	10 月	ギャラリー六軒茶屋にて開催 (10 月 25 日～ 29 日)
平成 26 年 (2014)	3 月	第 2 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向け無料講習会に参加 /
	4 月	宝塚市制 60 周年記念市政功労賞受賞
	6 月	「きらっとひかる街のアーティスト宝塚市手工芸協会展」ギャラリー六軒茶屋にて開催
	11 月	第 18 回宝塚市手工芸公募展を開催 (11 月 27 日～ 11 月 30 日) (主催:宝塚市手工芸協会・(公財)宝塚市文化財団 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会) 10 年ぶりに再開。阪神間を中心に、東北からは青森、宮城、福島、姉妹都市松江市から、更に海外のハンガリー、韓国からの応募があり、応募作品数 126 点、来場者数 1000 名を超えた。
平成 27 年 (2015)	2 月	第 6 回「日本のひな祭り宝塚市手工芸協会展」をソウル韓国日本国大使館公報文化院にて開催 協会の作品展示 (日本文化の紹介) と無料講習会 / 10 人の協会員が 8 講座を開き、ソウル市民に作品制作を指導 / 来場者 1280 人 (国際交流)
	3 月	第 3 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 (ボトルフラワー)
	6 月	宝塚ベガ音楽コンクール副賞 (パンチュール・デコラティブ) 製作提供

年	月	実施内容
平成 28 年 (2016)	1 月	第 19 回宝塚市手工芸公募展を開催 (1 月 30 日～ 2 月 2 日) (主催:宝塚市手工芸協会・(公財)宝塚市文化財団 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会)
	3 月	第 4 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 (灯 和紙スタンド)
	6 月	「きらっとひかる街のアーティスト宝塚市手工芸協会展」 ギャラリー六軒茶屋にて開催 (6 月 9 日～ 12 日) 宝塚ベガ音楽コンクール副賞革工芸 (楽譜バインダー) 製作提供
平成 29 年 (2017)	1 月	第 20 回記念宝塚市手工芸公募展を開催 (1 月 28 日～ 1 月 31 日) (主催:宝塚市手工芸協会・(公財)宝塚市文化財団 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会・ 兵庫県阪神北県民局)
	3 月	第 5 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 (刺繍糸のタッセル)
	4 月	理事長:秋山文子 会長:齊藤美和子
	9 月	「きらっとひかる街のアーティスト展」を宝塚阪急にて催し、作品展示と販売 売上げの一部を熊本県工芸協会へ熊本地震義援金として贈る。
平成 30 年 (2018)	1 月	第 7 回「日本のお正月宝塚市手工芸展」をソウル韓国日本国大使館公報文化院にて開催。 協会の作品展示と無料講習会 / 8 名の協会員が 1 講座 2 時間でソウル市民に作品制作を指導 / 来場者数約 2000 名 秋山文子理事長 宝塚市市民文化賞受賞
	3 月	第 6 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 (革の花を飾ったペンケース)
	4 月	「きらっとひかる街のアーティスト展」を宝塚阪急にて催し、作品展示と販売 売上げの一部を熊本県工芸協会へ熊本地震義援金として贈る。
	9 月	県政 150 周年記念第 21 回宝塚市手工芸公募展を開催 (9 月 27 日～ 9 月 30 日) (主催:宝塚市手工芸協会・(公財)宝塚市文化財団 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会・ 兵庫県阪神北県民局) 応募者数 90 来場者数 800 名 台風のため会期を 1 日縮小、表彰式懇親会中止



韓国展の様子(2020年)



年 月 実施内容

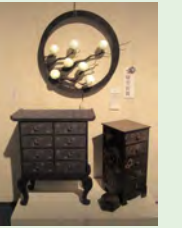
- 平成 31 年 (2019) 3 月 第 7 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 (革を使ったアクセサリー)
- 令和元年 (2019) 5 月 「きらっとひかる街のアーティスト展」を宝塚阪急にて催し、作品展示と販売、売上げの一部を熊本県工芸協会へ義援金として贈る
- 9 月 第 22 回宝塚市手工芸公募展を開催 (9 月 26 日～9 月 29 日) (主催:宝塚市手工芸協会・(公財)宝塚市文化財団 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会・兵庫県阪神北県民局) 応募者数 95 入場者数 900 名
- 10 月 兵庫県婦人手工芸協会との合同展を開催 於:国際文化センター (10 月 18 日～20 日)
- 11 月 「きらっとひかる街のアーティスト宝塚市手工芸協会展」ギャラリー六軒茶屋にて開催 (11 月 8 日～13 日)



- 令和 2 年 (2020) 1 月 第 8 回「日本のお正月宝塚市手工芸展」をソウル韓国日本国大使館公報文化院にて開催。協会員の作品展示と無料講習会 / 4 名の協会員が 1 講座 2 時間でソウル市民に作品制作を指導 / 来場者数約 1300 名 日本大使館から大使他来場、政情不安中の開催を喜ばれ激励された。韓国メディアの取材も受け民間交流が一段と深まった。
- 3 月 第 8 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 (ネームプレート) **コロナウイルス感染症危機対策のため中止**
- 5 月～ 第 23 回宝塚市手工芸公募展 1 年延期を決定
- 9 月 第 35 期の総会を书面決議とする
- 10 月 手作りマスクを (公財) 宝塚市文化財団、公募展協賛者、関係各位、韓国公報文化院へ贈呈 宝塚市商工勤労課『もの。こと。ば』冊子の取材協力 「きらっとひかる街のアーティスト展」を宝塚阪急にて開催 10 月 28 日～11 月 3 日

年 月 実施内容

- 令和 3 年 (2021) 2 月 (公財) 宮城芸術協会へ阪急展売上げの一部を寄贈
- 3 月 第 9 回わくわくそうぞうたからん祭り子供向けワークショップ担当 (ネームプレート作製)
- 5 月 **文部大臣特別賞の交付を受ける**
- 8 月 『宝塚市手工芸協会ホームページ』『Instagram』『フェイスブック』スタート
- 9 月 『第 23 回宝塚市手工芸公募展』開催 9 月 30 日～10 月 3 日 (主催:宝塚市手工芸協会・(公財)宝塚市文化財団 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会・兵庫県阪神北県民局) **小中学生部門の新設** 感染症対策に最大留意・懇親会は中止
- 10 月 第 58 回宮城県芸術祭工芸展に招待作品出展 11 月 1 日まで
- 12 月 「きらっとひかる街のアーティスト宝塚市手工芸協会展」開催 宝塚市文化芸術センターにて 10 日～14 日まで



- 令和 4 年 (2022) 3 月 第 10 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 (楽しいカービング)
- 4 月 「きらっとひかる街のアーティスト展」を宝塚阪急にて開催 4 月 20 日～26 日
- 7 月 **兵庫県知事賞の交付を受ける**
- 9 月 『第 24 回宝塚市手工芸公募展』開催 9 月 29 日～10 月 2 日 (主催:宝塚市手工芸協会・(公財)宝塚市文化財団 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会・兵庫県阪神北県民局)
- 12 月 韓国公報文化院へ日韓友好とコロナ終息を祈り千羽鶴を贈る



- 令和 5 年 (2023) 3 月 第 11 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 (粘土で作るアニマルまんじゅう)
- 9 月 『第 25 回宝塚市手工芸公募展』開催 9 月 28 日～10 月 1 日 (主催:宝塚市手工芸協会・(公財)宝塚市文化財団 後援:宝塚市・宝塚市教育委員会・兵庫県阪神北県民局)
- 12 月 「きらっとひかる街のアーティスト展」を宝塚阪急にて開催 12 月 6 日～12 日

- 令和 6 年 (2024) 3 月 第 12 回わくわくそうぞうたからん祭り / 子供向けワークショップ担当 3 月 30 日

革工芸
秋山 文子



手作りの美しい手提げを街で見かけてから60年余りが経ちました。モデラ 1 本で模様をつけていた頃、美しい色を追い求めた頃、作品も実用なものから絵画的なもの、オブジェ的なものへと表現が多様になりました。革で何か創りたいと思い、革にふれている間に創る事の楽しさを味わうことが出来たらどんなにうれしい事でしょう！

経歴

- 1978年 毎日新聞クラフト展入選
- 2002年 韓国日本大使館文化院主催 「ひな祭り」展出展
- 2003年 フランス・パリ in ルーブル美の革命展 グランプリ受賞・フランス平和賞受賞
- 2004年 バルセロナ国際ビエンナーレ入選
- 2005、2007年 日本革工芸展入選
- 2006年 現代手工芸展入選
- 2006年 ウィーン NEO-JAPANISM 特別展覧会 パンパリティ受賞
- 2007年 双樹展スポンサー賞受賞
- 2008年 北海道「大地と光の芸術祭」特別出展
- 2010年 ロシア・JAPAN Art Collection in Sankt-Peterburg 出店
- 2014年 JAPAN・EXPO2014 パリ展

プロフィール

- バルセロナ国際芸術サロン正会員
- ACE 美術アーティスト国際連盟会員
- 公益財団法人宝塚市文化財団理事長
- 宝塚文化連盟理事
- 宝塚市工芸協会会員
- 宝塚市手工芸協会理事長



深海



ムレタ舞う



赤の広場



アラベスク



あかり



フレンチェ



晴の日

人形
荒木 富佐子



神崎郡在住。20代の頃から独習で和紙人形を制作し、兵庫全国手工芸コンクールで伝統技術賞や宝塚市手工芸公募展・宝塚市長賞等を受賞。記憶に残っている自身の昭和30年代の思い出や、家族のいる情景を和紙人形で表現し個展を中心に活動しています。最近は孫をモチーフに将来への夢を描く姿や、コロナ禍での戸惑い、そしてコロナ禍を乗り越え社会へ踏み出していく姿をシリーズで制作しています。



Longing (あこがれ)



うん?



First Steps (旅立ち)



孫のお相手



羽化

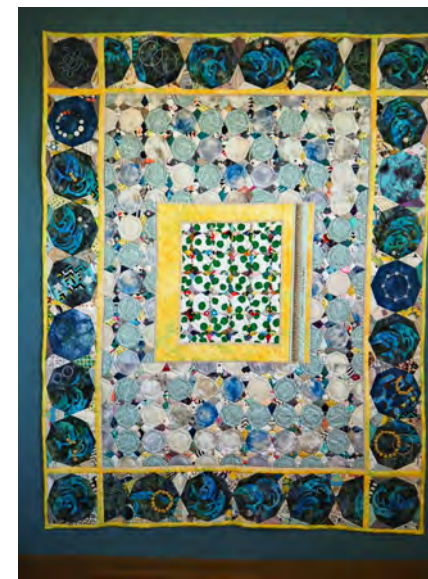
パッチワークキルト
植田 裕子
(Yuko Ueta)



日々の生活を大切に…前向きに…をモットーに
布のぬくもりを伝えられるよう
“Modern Quilt Studio”にて
オーダー制作による活動を行っております

～経歴～

2003よりパッチワークを始める
2013日本手芸普及協会パッチワーク講師取得
2015.2016宝塚市手工芸公募展受賞
2016宝塚市手工芸協会会員
作品の一例
“2020+1 東京オリンピック・パラリンピック”
東京で行われたオリンピック、パラリンピックの五輪マークの5色をモチーフにパターンをおこし、エンブレムを布で表現してみました



陶磁器絵付 岸川仁巳



『好きな器をコレクションしたい』20代のころはアンティークの器をただ集めては満足していました。しかし、器は稀少高額で日常の使用に不向きなものも多々ありました。そんな折、「欲しい器は自分で作って描けばいいんだ!」と思い当たり陶芸、ヨーロッパチャイナペイント、有田焼絵付けを学びました。技術が向上し欲しかった器と同じ絵柄を描き上げた時の喜びは今でも忘れる事ができません。普段使いの器が華やかで使う人の心が満たされるそんな贅沢な時間を過ごしてもらえたらと心を込めて制作しています。

プロフィール

- 1994年 陶器作陶を始める
- 1997年 ヨーロピアンチャイナペイント(水彩)を始める
- 2005年 ヨーロピアンチャイナペインティングコース IPATcertified teacher (インストラクター)免許取得
- 2006年 有田伝統工芸士 岩永純明氏に師事 有田焼磁器絵付けを始める
- 2011年 日本キルンアート協会有田焼上絵付認定講師免許取得
- 2012年 日本キルンアート協会有田焼認定講師免許取得
- 2019年 第22回宝塚市手工芸公募展にて有田焼作品「染付鳥獣牡丹紋大鉢」で秀作賞受賞
- 2020年 宝塚手工芸協会会員に選出



染付鳥獣牡丹文大鉢



〈左側〉二十四節気 啓蟄
〈右側〉芥子とネコ



繭箱 dreamcatcher



染錦 瓔珞文竹梅鹿図



桔梗淵深鉢スズメのいたずら

木工 古閑良彦



木工ろくろに出会ってから四半世紀。広葉樹の材を使った木工クラフトで、木そのものの色や木目を生かして作ります。木工旋盤による造形の可能性を広げていくのが楽しみになり今日に至っています。見る人にとっても、作り手にとっても楽しい作品を作れたらと思っています。宝塚市手工芸協会の会員展以外の活動歴は以下のとおりです。

- ・川西市のギャラリー(画廊シャノワール)で隔年に個展開催
- ・長野県安曇野市の安曇野スタイルで毎年作品展示
- ・そのほか、東京・青山、熊本市、奈良市などで個展開催



8角形サラダボール



ルーシーリー風の器



ひよこ8匹

木工 小坪 英夫

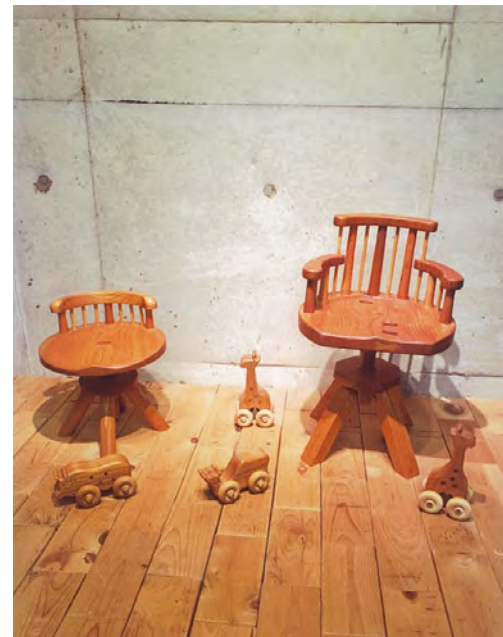
主な使用材料は、無垢材（広葉樹）を使い その良さを最大限に生かせる 事を心掛けました、細部までこだわりを持ち樹に向かい合っています。

1979年 長野県白馬村でログキャビンを独学で建て始め、木工の世界へ
1982年 自宅に工房 wood-craft47 設立～現在に至る

経歴
1996年～東急ハンズ・コープ神戸において木工ろくろ教室開講
2006年～自宅工房において木工ろくろ教室開講

出展歴
1999年 世界木のクラフト展 万博公園鉄鋼館
2000年 青谷の桜展 企画展
2001～2002年 鹿児島県財部町クラフトフェア 企画展
2003年 宮崎県山之内町クラフトフェア 企画展
個展（神戸市・宝塚市・鹿児島県他）
2004年 ソウル（在韓日本大使館広報文化院）
正月展・ひな祭り展 参加ほか

主な受賞歴
大阪工芸協会 工芸展 奨励賞 99（大阪府）
宝塚市展 最優秀賞・優秀賞 '06・'07（兵庫県）ほか



陶芸 酒井 真理



一軒窯工房 yas にて作家活動をしております
普段使いの食器からオブジェまで
薪窯、電気窯、それぞれの良さを生かしながら
作陶中も、焼成終わりの窯を開けた時にも微笑みがでる作品を
目指し、日々作陶しております

プロフィール
1965年 大阪府出身
1999年 武田康明氏に師事
2004年 作家活動家を始める
2011年 北風一三氏に穴窯焼成を通じて薫陶を受ける
2014年 第18回宝塚市手工芸公募展 佳作
2016年 第59回宝塚市展 奨励賞
第19回宝塚市手工芸公募展 秀作賞
2016年 初個展
宝塚市手工芸協会会員となる



陶遊魚の進化



ハシビロコウ



吊り陶遊魚



焼きメハシビロコウファミリー

押し花 澤山 良子



人生のライフスタイルを模索してなにげに入った展示会が、押し花との出会いでした。
押し花で作品を作るイメージは全くありませんでしたが、展示会に飾られていたものは、私のイメージとはかけ離れたアートの作品の数々でした。
一瞬にしてこれだと思い、2005年に押し花をスタート。
2017年と2018年に個展を開催。
また、初めて出店した第21回(2018年)の公募展では、優秀賞を受賞し、第22回は、宝塚市議会議長賞、第24回では奨励賞を受賞いたしました。



鶴の舞



滝のちから



ふわりと弾むシャボン玉と



昼下がり



変化

粘土工芸 繁田 祐子

受賞歴
2019 YAKO 大賞 プレミアム賞
2020 PADICO Creative Award ブロンズ賞
2021 全国手工芸公募展特別賞 産経新聞社賞

展示歴
2021より大阪・東京を中心に企画展に多数出展
2023に粘土工芸では自身初の個展「わたしのおもちゃ箱」(東京)を開催

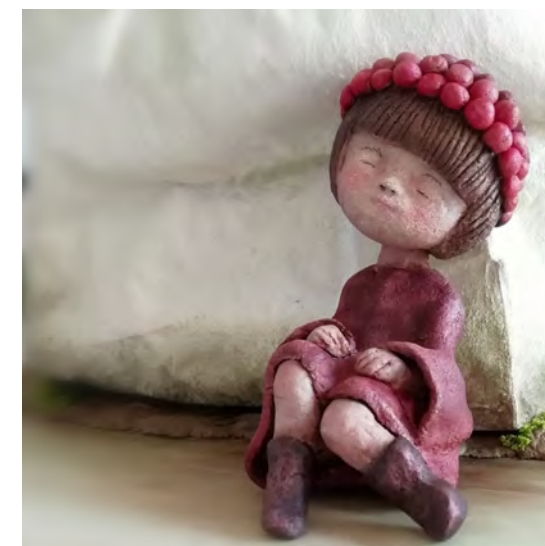
永年のトールペイント講師を経て、2018より独習で粘土工芸を始める。
2020に宝塚市手工芸協会の会員となる。
樹脂粘土で作る野草はより繊細さを求め、木の粘土で作るドールはご覧いただく皆様に和んで頂けるよう制作に励んでいます。



わたしのおもちゃ箱



ばあちゃんうさぎ



赤い実の女の子



バウンダリー

カービング アーティスト
柴田 なな



- 2006 カービングを始める
- 2010 カービング教室 STUDIO SUK CAI を主宰
- 2015 Malisa School (バンコク) にて Soap & Fruits Carving Professional コース修了

<受賞歴>
 神形彫手決戦新北(台湾) 個人戦 銅メダル (2014)
 Battle of The Chefs (ベナン) 個人戦・団体戦 銅メダル (2014)
 USA スイカカービングコンテスト 特別賞 (2016)
 宝塚市手工芸公募展 奨励賞 (2018)
 全日本芸術公募展 入選 (2021)
 全国手工芸コンクール 優秀賞 (2021・2022)
 「アートと泊まるプロジェクト」入賞 宝塚ホテル担当アーティストに選出される (2023)



鳳凰



アート泊まるプロジェクト受賞作品
キャンドル彫刻



Antique Wedding Cake



書籍表紙



オーナメント



全国手工芸コンクール受賞作品

陶芸
武田 康明



老若男女問わず様々な方たちと土を通じてコミュニケーションし、少しでも心の安らぎになれば良しとしながら活動しております。

プロフィール
 1968 年生まれ
 1991 年 大阪芸術大学工芸学科陶芸専攻卒業
 1996 年 宝塚に築炉 工房 Yas 主宰
 以降 作家活動、陶芸教室を主とする



欧風刺繍
菱村 扶佐子



糸の彩りに魅せられて

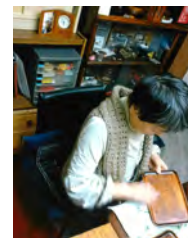
先生について刺繍を始めたきっかけは、今風に言えばママ友のお誘いでした。もともと手仕事が好きで、たちまちとりこになって小物の刺繍から始まり数えてみたら50年。

配色によって変わる面白さ、生地の色が違えば同じ糸でも思いがけなく変化する色、濃淡で表す立体感、単色良し、多色良し、いろいろなテーマに挑戦してみました。

良き師と善き友に恵まれ、糸たちに彩られた半世紀でした。



漆工芸
藤木 敏子



漆に出合って45年。

主人の転勤が縁で日展作家山田若信氏に教えをいただき今日にいたっています。

漆芸は日本文化を代表する分野の一つだと思います。日常生活に活用される漆器を作りたいと、若い仲間と日々漆の手仕事に精を出しております。漆は一旦乾いてしまうと本当に丈夫です。中性洗剤で毎日洗っても平気です。



とち空 大皿



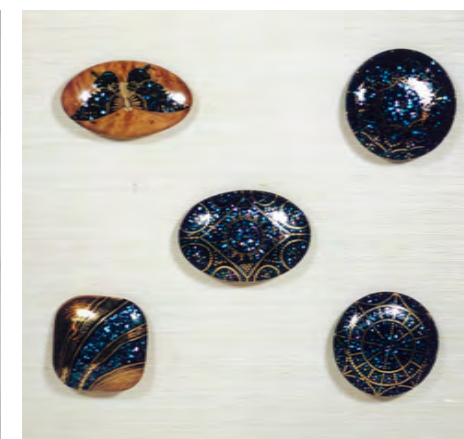
棧俵盆と茶托



樺さかづき蒔絵



かりん摺漆 銘々皿・茶托



装身具



とち摺漆塗 宮島盆



お皿いろいろ

パンチュール 牧野 聖子

パリの美術学校に入学、フォ・マーブルの技法とヨーロッパの美術工芸デザインを修得。

受賞歴

- ハマ展市長賞、奨励賞受賞
- 神奈川県青年展佳作
- VOTRE MAISON 主催展グランプリ

出展歴

東京、名古屋、札幌、神戸にて個展
 公募展、ハマ展、女流美術協会展
 神奈川県青年展、一水会に出品
 ソウル日本大使館、文化院での展示
 百貨店イベントへの出品 日韓交流展

現在

パリ・パンチュール・デコラティブ協会会員
 宝塚市工芸協会会員
 宝塚市手工芸協会会員



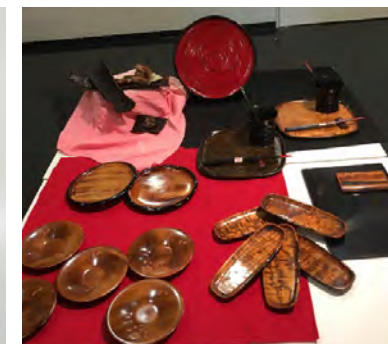
漆工芸 盛 佳保里



宝塚市で生まれ育ち、母親が美術教師であったことから自然と芸術にふれ学生時代は工芸デザイン（染・織）を学び、テキスタイルデザイナーとして仕事をしておりましたが、結婚・子育て、父親が病気をしたことで、福祉大学で学びなおし、現在は福祉関連の仕事を25年以上従事しております。10年前に地域支援活動の中で漆塗りを知る機会があり、「自分のために手作りの漆器を作りたい」との思いで、はじめましたが、現在はどう時間を作ろうかと、自宅で作品制作に、奮闘しております。今後も宝塚市の介護予防・地域活動、生きがいづくりの一環として宝塚市の芸術の発展活動を続けていきたいとおもいます。

受賞歴

- 平成 29 年宝塚市手工芸公募展 入賞
- 令和 4 年第 4 7 回こうべ市民美術展 工芸の部入賞
- 令和 4 年第 4 7 回宝塚市民展 工芸の部入賞



「キルトミッション
パッチワークキルト教室」主宰
公益財団法人
日本手芸普及協会認定指導員

パッチワークキルト
齊藤 美和子



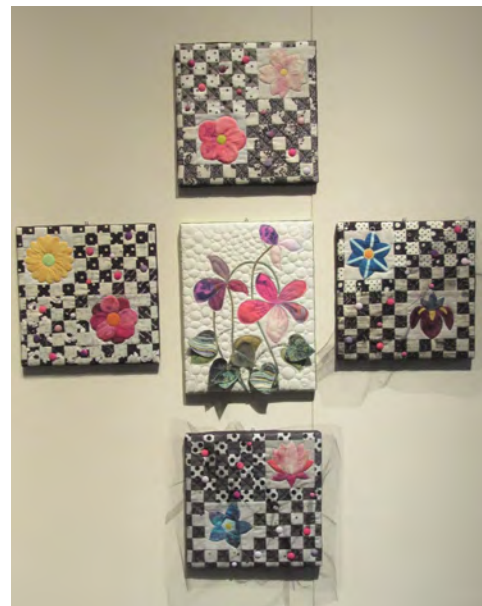
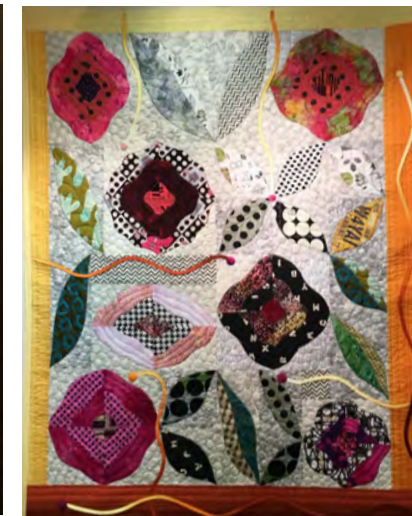
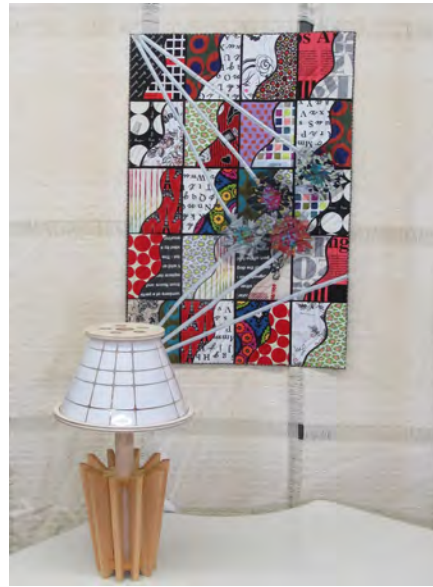
幼い頃母が、色とりどりの余った毛糸を集め、モチーフを作り、つなぎ合わせてソファカバーを作っていました。近所の洋裁店のお姉さんから余った布を頂き、どんな作品を作ろうかとワクワクしていました。小さなカケラから創造の世界が広がります。パッチワークキルトの魅力です。



未知



華やぎ



花ごよみ



爛漫



絵更紗 吉矢澄子



絵更紗は、自由な発想と独自の表現を大切に、絵模様を染め出す手描き更紗です。
一つの作品が出来上がるまで、気の遠くなる工程があり、とにかく根気と努力が必要です。
そんな絵更紗に魅せられ、コツコツと65年の歳月が経ちました。

略歴

- 1965年 絵更紗美術協会準会員
- 1978年 絵更紗美術元井登志画塾入門
- 1986年 岡山天満屋画廊展出演
- 1989年 京都文化博物館にて展覧会出演
- 1990年 絵更紗技芸士の証を受ける
- 1994年 神戸阪急にて絵更紗展出演
- 1995年 宝塚市手工芸協会会員
- 2001年 阪急百貨店本店にて絵更紗展出演
- 2002年 宝塚文化連盟工芸協会会員

受賞歴

- 1982～1995年 宝塚市展入選
- 1985年 宝塚市展鉄斎美術館賞
- 1988年 宝塚市手工芸公募展 教育委員会賞
- 1995年 豊中市展 ロータリークラブ賞
- 1997年 IFA 新選 美術展入選
- 2011年 宝塚市民文化賞
- 2021年 兵庫県高齢者特別賞
- 2024年 宝塚市手工芸協会感謝賞



高原



孫へ 十三参り



美山の風景



椿



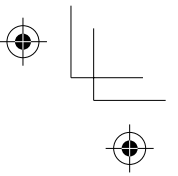
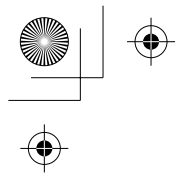
花車



風景



焚火



宝塚市手工芸協会 40 周年記念誌

発行日 2024 年 4 月 18 日
著 者 宝塚市手工芸協会
発 行 宝塚市手工芸協会
印 刷 株式会社N & K
665-0044 宝塚市未成町 19-23
TEL : 0797-77-7855
URL : <https://n-and-k.com/>

本書を無断で複製・複写することを禁じます。
乱丁・落丁の場合はお取替えいたします。

Copy right 2024-takarazukashishukougeiassociation
All Right Reserved

